

第 7 1 4 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 一般国道11号 大内白鳥バイパス事業 [四国地整]

…………… 香川県東かがわ市

- ・大内白鳥バイパスは、東かがわ市の交通渋滞の緩和および交通安全の確保を図るとともに、四国横断自動車道 白鳥大内ICへのアクセスを強化することで香川・徳島間の地域連携を高め、東かがわ市の新たなまちづくりの支援を目的とした延長9.2 kmのバイパス事業。
- ・平成12年度に事業に着手し、延長9.2 kmを4つの工区に分割して事業を展開しており、令和3年度までに、白鳥大内ICをはさむ2工区（延長3.3 km）、3工区（延長2.6 km）を暫定2車線で開通し、国道11号の慢性的な渋滞の緩和及び通学路の安全性向上などの効果を確認している。
- ・本事業では、ICT施工を活用して工事を進めており、今後もBIM/CIMなど建設現場の生産性向上に資する取組を試行・展開していく。



2 県道円座香南線（地域高規格道路）空港連絡道路整備事業 [香川県]

…………… 香川県高松市

- ・空港連絡道路は、高松自動車道の高松西ICと高松空港を結ぶ約9 kmの地域高規格道路であり、高速交通体系の整備効果や高松空港の拠点性を最大限に活かし、生産性の向上や交流人口の拡大に資するとともに防災面でも重要な役割を果たす道路である。
- ・国道32号や鉄道等を跨ぐ高架橋を含む高松西ICから県道岡本香川線までの中間工区約3 kmについては、平成30年3月に暫定供用を開始しており、その後、平成30年度からは、県道岡本香川線から高松空港までの香南工区約6 kmの整備を行っている。
- ・現在は、高松市南部地域の幹線道路である県道三木綾川線やその前後にある3つの市道を跨ぐ橋長653.5 mの高架橋の整備を進めており、令和6年度より上部工に着手している。



3 高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナル整備事業 [四国地整]

…………… 香川県高松市

- ・高松港朝日地区には、小豆島を経由し、神戸港との間で1日4往復（2隻）のフェリーが就航しており、四国を起点として全国に展開する広域的な物流拠点となっている。
- ・貨物需要の増大による積み残しが生じるなど、取扱能力が限界に達しており、今後、トラックドライバー不足に伴う海上輸送へのさらなるモーダルシフトが見込まれることから、船舶の大型化に対応するとともに、南海トラフ地震など大規模地震発生時に緊急物資輸送を行う復旧復興の拠点とすることを目的として、現在、新たな複合一貫輸送ターミナルを整備している。
- ・令和2年度に事業着手し、令和4年に一部完成。1隻目の新造フェリーが就航した。今後2隻目となる新造フェリー就航に向けて事業を推進する。

